

子供を元気にする。親も元気になる

プレジデント

12 2010

Family

プレジデント ファミリー

「言問」是か一年後かに
ぐつと難しくなるという
噂を検証

中高生の親1000人が証言

わが子の受験、 親の後悔 トップ40

子供の意思を
尊重すべきじゃなかった...



算数を難しく感じるようになったときが分岐点

小学校時代、うちの教育が 間違った原因

未来の泰斗 FILE.52

息子を支えた 母の手帳

萩原孝太郎／小学6年生
全日本少年少女
空手道選手権大会
「形の部」優勝

最終目標は難関大学!

早めの準備が肝心、入試の新・基礎知識50問

- 学費タタ同然の公立中高一貫校はお薦めなの? ●学力は高いのに内申点が低い。高校受験は私立しかない?
- 大学の学費が上がっていますが、いくら用意すれば安心? ほか

A アメリカの上位100校がおすすです

国際公用語が英語であることを考えると、英語圏の大学がいいでしょう。英語圏でも国によって教育制度が異なるため、日本の高校卒業後すぐに進学できる北米の大学は、比較的に選択しやすいと思います。

アメリカの場合、約二三〇〇もの四年制大学がありますが、いくつかのカテゴリーに分類できます。まず、全国から学生が集まる総合大学で、幅広い専攻の学位や博士号が取得できる「ナショナル・ユニバーシティ」。私立では、ハーバード大やイエール大、公立ではカリフォルニア大(UCLA)などが、これにあたります。

また、学部教育を主体に少人数で質の高い教養を身につけるのが「リベラルアーツ・カレッジ(LAC)」。アマースト大、ウィリアムズ大などの名門校は全国区の大学です。

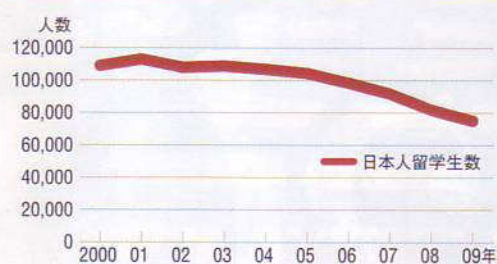
そして、主に地元の生徒が入学する「リージョナル・ユニバーシティ/カレッジ」です。カリフォルニア大学とカリフォルニア州立大学(CSU)は同じ州立大学ですが、後者はリージョナル・ユニバーシティ。高校卒業同等資格で入学できるコミュニティ・カレッジ(公立の二年制大学)もここに含まれます。

一般的にナショナル・ユニバーシティやLACのほうが、教員の質も高く、設備も充実しているので、留学先は、その中から上位一〇〇校に入る大学を目安に選ぶといいでしょう。その際、よく参考にされるのが毎年、「USニューズ&ワールドレポーター」誌が発表している大学ラン

キング。大学カテゴリー別のほか、プログラム別ランキングもあるので、専攻志望が固まっているなら、そこから調べてみるのもいいでしょう。例えば、国際関係学を学ばなら、ジョージタウン大学、ジョージワシントン大学、アメリカン大学などがおすすめです。国際関係学のプログラムが充実していることに加え、ワシントンDCというアメリカ政治の中核に立地するため、世界の動きを肌で感じることが出来ます。

ただし、ナショナル・ユニバーシティやLAC上位校に合格するには、高校時代の優秀な成績と英語力が要求され、またSAT、ACTという

日本人留学生の減少が留学のチャンスを広げる



1) 日本人留学生は2009年に約75,000人(ビザ取得者のみ)
2) 2001年より減少傾向
出典: アゴス・ジャパン

後藤道代 ● 留学カウンセラー



インディアナ大学大学院で言語教育学修士号取得。1988年より留学指導に携わる。アメリカ、カナダ、イギリスなどの教育制度に精通。

学力共通テストが課せられます。もし、成績に自信がなければ、コミュニティ・カレッジから上位校に編入する方法もあります。編入コースで必要な単位を取れば、例えばUCに三年から編入して、トータル四年間で卒業することも可能です。ちなみに、名門私立大は編入受け入れを見合わせる場合もありますが、ハーバード大学は二〇一〇年より二年次からの編入の受け入れを再開しています。

近年、日本からの留学生は減少傾向にあります。アメリカの上位校は「多様性」を重要視し、さまざまな国から優秀な留学生を受け入れようとしています。ですから、日本からの留学生が減っている今は、上位校に入るチャンスなのです。上位校は学費も高いですが、成績優秀者に与えられる奨学金や、経済的負担を軽減するファイナンシャルエイドといった奨学金制度もあるので、ぜひ、チャレンジしてみてください。

Q 海外に留学

させるなら、どんな大学がいいでしょう？

